

令和6年12月2日

報道機関各位

青森県こども家庭部若者定着還流促進課

大学生向けワークショップの開催について

県では、若者の県内定着の促進を図るため、大学生向けのワークショップを下記のとおり開催しますので、取材方よろしくお願ひします。

記

1 日時

令和6年12月5日（木）12：40～14：10

2 場所

弘前学院大学 4号館1階 第3会議室（弘前市稔町13-1）

3 参加者

弘前学院大学の学生 23名程度（5グループ）

4 開催概要

学生が価値観カードゲームを通じて、青森の価値や魅力、可能性について自ら考えるもので、詳細は別添のとおり。

5 留意事項

社名の記載がある名札や腕章を着用の上、直接会場にお越しくださるようお願いいたします。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	こども家庭部 若者定着還流促進課 県内定着促進G GM 岡村 慶子 主査 小野 裕
電話番号	直通：017-734-9398（直通） 内線：4353
報道監	こども家庭部 次長 大山 和也

令和6年度大学生向けワークショップ（弘前学院大学）

開催要領

1 **目的** 若者の県内定着・還流に向け、県内社会人との交流を通じて、学生に地域の良さや青森で暮らすことの魅力について理解を深めてもらうとともに、将来暮らし働く場所を選択する際の価値観の幅を広げてもらう。

2 **日時** 令和6年12月5日（木）12：40～14：10

3 **対象** 学生23名程度（4～5名×5グループ）

※各グループにファシリテーター（県及び県警職員）1名配置

4 **会場** 弘前学院大学 4号館1階 第3会議室（弘前市稔町13-1）

5 プログラム

(1) ワークショップ＜トータル90分＞ 12：40～14：10

ア 主催者あいさつ＜1分＞

◎趣旨説明・ワークショップ導入

イ ルール説明（動画）＜2分＞

ウ グループワーク：価値観カードゲーム＜80分＞

○自己紹介＜5分＞

○ワーク①＜20分＞ カードゲーム1回目

- ・手にしたカードを自身の価値観、大切にしたいものと照らし合わせ、ピンとこないカードを手放していくカードゲーム感覚のワーク。
- ・最後まで手元に残った5枚のカードを大切な順に並べ、価値観を具体化してシートに記入。さらに、それを実現するのに適している場所を選択し記入。

○ワーク②＜5分＞ 未来想像シートで未来の自分にタイムトリップ

- ・「未来想像シート」を使って「40代になった自分」を想像（長期的なライフプラン）

○ワーク③＜20分＞ カードゲーム2回目

- ・「40代の自分が大切にしていると思うこと」でもう一度カードゲームを行う。
- ・最後まで手元に残った5枚のカードを大切な順に並べ、価値観を具体化してシートに記入。さらに、それを実現するのに適している場所を選択し色付箋を貼り付け。

○ワーク④＜25分＞ 社会人との対話による「青森の価値」発見

- ・各学生がワーク①とワーク③のシートを並べて、一人ずつ、結果（20代→40代の価値観変遷）を発表
- ・学生の発表を基に、ファシリテーターが学生の価値観を掘り下げるとともに、「青森の価値や魅力、可能性」などを引き出していく。
- ・ファシリテーターと学生が意見交換する形で進行。

○ワーク⑤＜5分＞ 私にとっての青森（まとめ）

- ・「私にとっての青森」を記入してそれぞれ発表。

エ 総括＜7分＞

◎まとめ

◎県庁、県警本部 PR